

事業所名		キャンパスジュニア宿河原（児童発達支援事業所）		支援プログラム		作成日		8 年		8 月		1 日	
法人（事業所）理念		子ども一人ひとりの強みや個性に寄り添い、安心できる環境の中で「できた」を積み重ね、就学や社会生活への自信と土台を育みます。											
支援方針		・通所の対象：未就学児及び就学児 ・お子さま一人ひとりの発達段階・特性・興味関心を丁寧に把握し、個別性を大切にした支援を行う。 ・個別支援、小集団、集団活動を組み合わせ、生活習慣・コミュニケーション・社会性・自己表現の力を育てる。 ・就学や集団生活に向けて、着席、指示理解、順番、ルール理解、身辺自立等の基礎的な力を育てる。 ・保護者や保育園・幼稚園・学校、関係機関と連携し、家庭や地域での生活につながる継続的な支援を行う。シュウダン											
営業時間		平日：9:00～18:00 /土曜・祝日・長期休暇期間：9:00～17:00				送迎実施の有無		○あり		なし			
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・来所時の体調確認、手洗い、排泄、身支度、片付け等を通じて、基本的生活習慣の定着を支援する。 ・活動の流れや予定を視覚的に示し、見通しを持って安心して過ごせる環境を整える。 ・おやつや食育活動を通じて、食への関心を育て、生活の中で必要な身辺自立を促す。											
	運動・感覚	・粗大運動、体幹運動、バランス遊び、リズム遊び等を通じて、身体の使い方や姿勢保持を支援する。 ・手指遊び、制作、粘土、感触遊び等を通じて、手先の巧緻性や感覚の調整力を育てる。 ・一人ひとりの感覚特性に配慮し、安心して活動に参加できるよう環境調整を行う。											
	認知・行動	・発達段階に応じた教材、カード、具体物等を用いて、色・形・数・大小・文字への興味や概念理解を支援する。 ・活動の切り替え、順番、ルール理解、簡単な指示理解等を、遊びや小集団活動の中で育てる。 ・就学に向けて、着席、注目、課題への取り組み、最後までやり切る力を育む。											
	言語 コミュニケーション	・遊びや日常活動を通じて、要求、気持ち、考えを言葉、身振り、表情、絵カード等で表現する力を育てる。 ・絵本、歌、やりとり遊び、英語活動等を取り入れ、言葉への興味や人と関わる楽しさを育む。 ・一人ひとりに合った方法で、相手に伝える力、相手の話を聞く力、やりとりを続ける力を支援する。											
	人間関係 社会性	・小集団活動を通じて、順番を待つ、友達と同じ場で遊ぶ、まねる、協力する経験を積み重ねる。 ・「できた」という成功体験を大切にし、自己肯定感や新しいことに挑戦する意欲を育てる。 ・保護者や保育園・幼稚園等と連携し、家庭や園での生活、就学後の集団生活につながる社会性を育む。											
家族支援		・送迎時は連絡帳アプリや電話等を通じて家庭での様子や支援状況を共有する ・必要に応じて面談を実施し、発達や子育てに関する相談に応じる。 ・家庭で取り組みやすい関わり方や環境調整について助言を行う。				移行支援		・就園、就学、進級等のライフステージの変化に応じて、必要な情報共有や引き継ぎを行う。 ・就学に向けて、集団参加、身辺自立、着席、指示理解等の力を育む支援を行う。					
地域支援・地域連携		・保育園、幼稚園、認定こども園、学校、相談支援事業所、医療機関、行政機関等と連携し、支援の方向性を共有する。 ・必要に応じて関係機関との会議や情報共有を行い、家庭や地域での生活につながる支援を行う。				職員の質の向上		・支援の振り返りやケース会議を通じて、支援内容の確認と改善を行う。 ・虐待防止、身体拘束適正化、感染症対策、安全計画、BCP、発達支援等に関する研修を実施する。 ・外部研修や事例検討を活用し、職員の専門性と支援の質の向上を図る。					
主な行事等		・季節の行事：七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、節分、ひなまつり等 ・活動：食育、制作、リズム遊び、運動遊び、感覚遊び、英語活動、読み聞かせ、避難訓練等 ・就学準備：着席活動、順番・ルールのある遊び、集団活動への参加等											